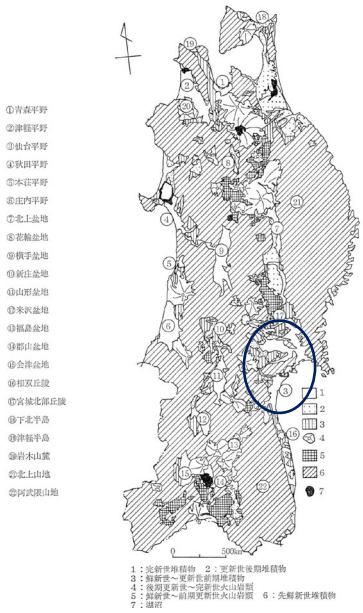
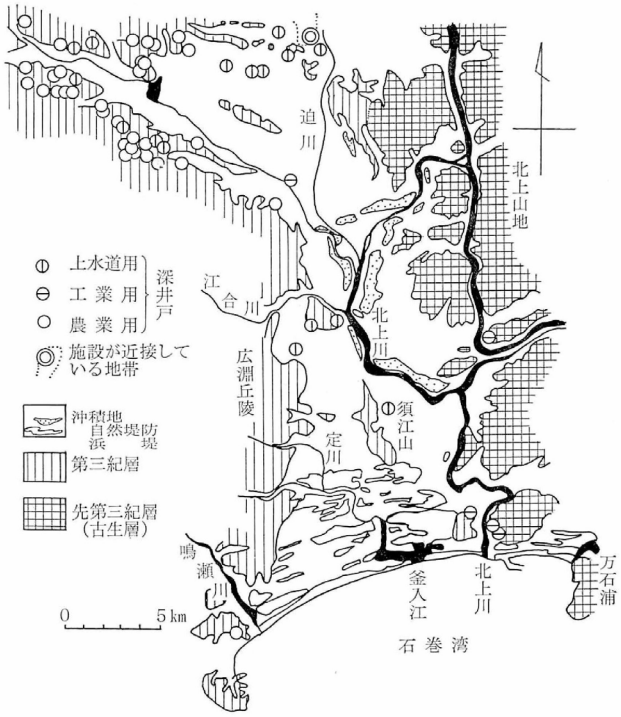
3.仙台平野



地形・地質

仙台平野は北上山地と阿武隈山地とを隔てる海岸平野で、北上川下流沿岸の石巻平野と、リアス式海岸で著名な松島湾を挟み仙台市街地をのせる宮城野平野からなります。



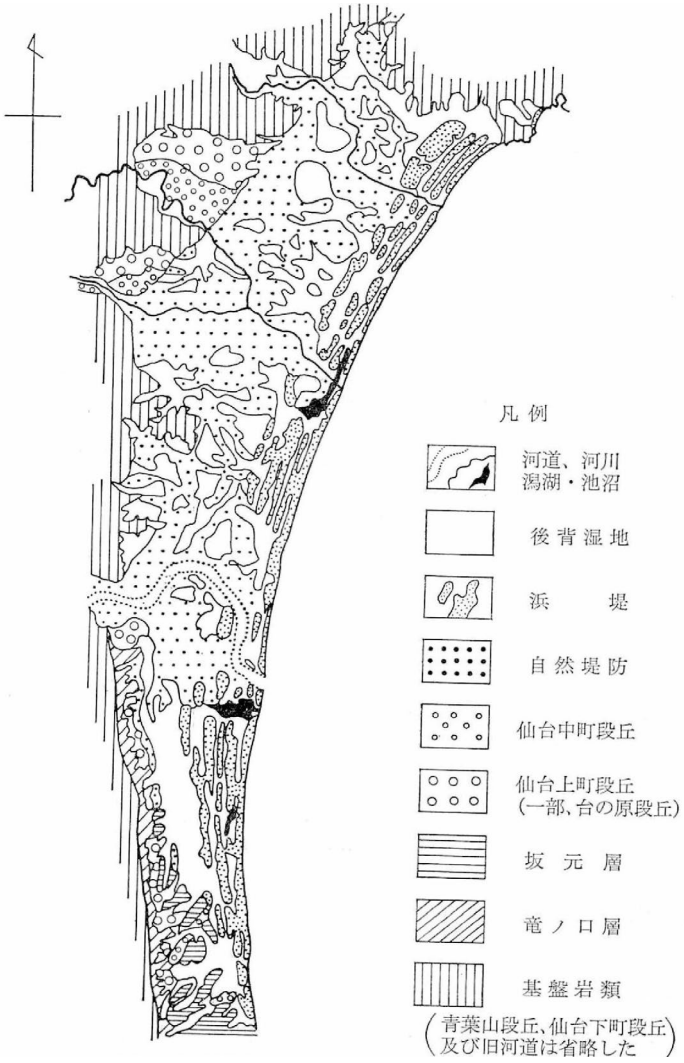
時代		地層名	層厚(m)	土質・岩質	堆積環境	帯水層
第四紀	完新世	雲雀野層	0～5	中～粗粒砂	砂丘	良質
		中埠層	2～9	砂質ローム	氾濫原	
				細粒砂		やや良質
		沼向層	1～25	ローム～泥炭	湖沼	
				ローム～細粒砂	低湿地	鉄分多し (Fe 30～50 ppm)
		釜層	20～35	細～中粒砂	浅海	塩分多し (Cl 1300～500ppm)
				ローム		メタンガス
				ローム～細粒砂		
				中粒砂～砂質ローム		塩分多し (Cl 10,000 ppm)
	更新世	蛇田層	5～10	礫	扇状地	やや良質
				粘土		
第三紀	鮮新世	小牛田層 広淵層	10～30	泥岩～凝灰岩・亜炭	浅海	
	中新世	日和山層（佳景山層）	30～70	礫岩		良質
三畳紀		稲井層	50>	砂質粘板岩	浅海	

（注）1. 宮城県企画開発部：石巻平野の地盤地質[3]から抜粋。
2. ロームと記載している部分は断面図では粘土～シルト層として表示。

石巻平野の地形・地質概念図と地層層序

地下水

石巻平野では，完新世の浜堤や砂丘を構成する砂層や，更新世の蛇田層の礫層に良質な地下水が存在します。宮城野平野は，平野部の農業地帯では浅井戸で段丘礫層中の不圧地下水を，仙台市街地とその周辺・相双丘陵では深井戸で基盤である第三紀層中の被圧地下水を取水しています。



宮城野平野の地形・地質概念図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）